

JCSSA サポートサービス委員会 資材活用ガイド

資材活用ガイド

「調査研究報告書」ならびに各種資材の活用方法について、ご紹介いたします。

調査研究報告書

アンケート調査報告
(本編)

調査研究報告書

(エグゼクティブサマリー)

アンケート調査報告
(要点)

要点の解説動画

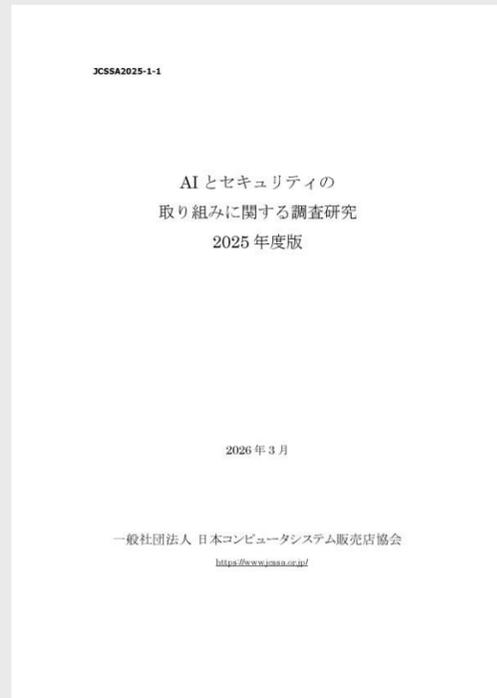
事例集

テーマに対して
会員企業の
取り組みをご紹介

技術解説

調査研究報告書に
記載のある
技術用語を解説

調査研究報告書



【目的・概要】

AIとセキュリティへの取り組み、およびシステム基盤の整備状況についてのアンケート回答を基に、集計・分析した結果を取り纏めた調査研究報告書です。

IT戦略立案に活用され、ビジネス転換の一助になることを目的としています。

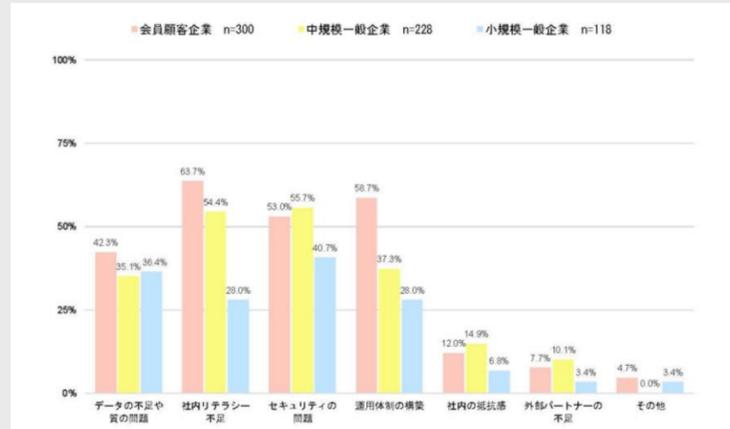
【調査項目】

- ◎ AIへの取り組み状況
- ◎ セキュリティへの取り組み状況
- ◎ ITシステムの整備状況

【活用】

AI・セキュリティ対応状況の把握ができ、貴社のIT戦略立案に活用いただけます。

調査研究報告書（エグゼクティブサマリー）



【目的・概要】

上記調査研究報告書の各項目について、概要や重要な論点を整理し、調査結果のトピックとして纏めています。動画およびWeb画面でご覧いただけます。

調査研究報告書の要旨の理解にお役立ていただけます。

技術解説

サポートサービス委員会にて作成した、セキュリティについての解説書掲載しております。

◆技術用語解説

技術用語	解説
Active Directory	Active Directory(AD)は、Windowsサーバで利用可能なディレクトリサービスで、ネットワーク上の端末、サーバ、プリンタ、アプリケーションなどを一元管理します。ユーザやグループのアクセス権限を統合的に管理することで、ITインフラの運用効率を高め、組織のセキュリティを強化します。また、グループポリシーを活用することで、リソースの管理やアクセス制御を強化し、適切な権限やセキュリティポリシーを一括で適用できます。たとえば、社員のログイン認証を集中管理し、アクセス可能なリソースを制限することで、組織全体のセキュリティを向上させます。
多要素認証 (MFA: Multi-Factor Authentication)	多要素認証(MFA)は、ユーザがシステムにアクセスする際に、2以上の異なる認証要素を組み合わせて利用する認証手法です。認証要素には、知識要素(例: パスワード)、所持要素(例: スマートフォンや認証アプリ)、生体要素(例: 指紋認証)、位置情報、デバイス情報などがあります。MFAを導入することで、1つの認証情報が漏洩した場合でも、不正アクセスを防ぎ、セキュリティを強化します。また、フィッシング攻撃やパスワード攻撃といった脅威への耐性が向上し、攻撃者がすべての認証要素を突破しない限り、システムへの侵入を防ぐことができます。
証明書認証	証明書認証は、ユーザやデバイスがネットワークやシステムに安全にアクセスするための認証手法です。クライアント証明書は特定のユーザの識別を確証し、デバイス証明書はデバイスの信頼性を確認します。この手法は、リモートアクセス、VPN、Wi-Fi認証、HTTPS接続などで広く使用されます。正規のユーザやデバイスのみがシステムにアクセスできるようにし、認証成功時のみネットワーク接続を許可します。これにより、不正アクセスや偽装攻撃のリスクを低減できます。
ネットワークアクセス制御	ネットワークアクセス制御は、組織内外のネットワークへのアクセスを、特定のユーザやデバイスに限定するセキュリティ対策です。ユーザ認証やIPアドレスフィルタリングを活用し、アクセス可能な範囲を厳密に制限します。不正アクセスや情報漏洩、外部からの攻撃リスクを低減する効果があります。ただし、アクセス制御だけでは十分でない場合もあるため、侵入検知システムや監視体制との併用が推奨されます。

【目的・概要】

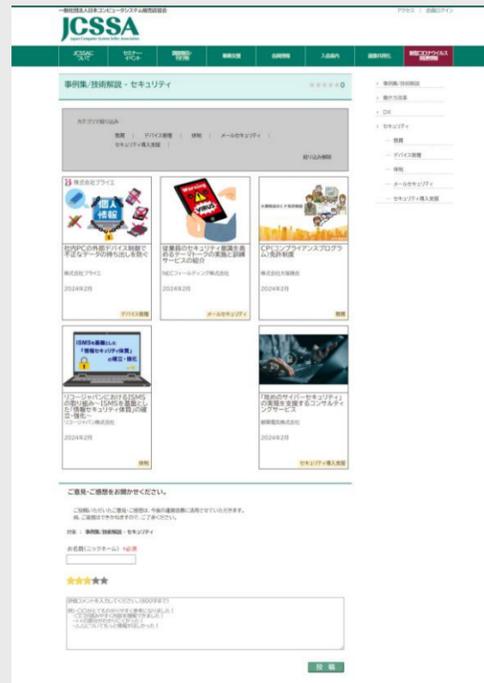
調査研究報告書で取り上げたIT関連の技術用語について、その技術概要を解説するとともに、サポートサービス委員会所属の会員企業が提供している関連サービスやソリューションを纏めています。

ITサービス導入検討時の参考情報にさせていただくことを目的としています。

【活用】

「調査研究報告書」、「事例集」と組み合わせて活用いただく事で、IT領域における対策・施策を検討する際の導入すべきサービスやソリューションの選定にお役立ていただけます。

事例集



【目的・概要】

本調査研究テーマ「AI」、「セキュリティ」、および過去に調査しましたテーマに関して、サポートサービス委員会所属の会員企業における取り組み事例です。

【活用】

ITサービスの導入実績に関する参考情報として活用いただけます。
また、「調査研究報告書」、「技術解説」と組み合わせてご利用いただく事で、ITサービス導入後の活用イメージの把握にお役立ていただけます。

本調査研究の評価に関するお願い

「調査研究報告書」につきまして、ご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。
調査研究報告書閲覧サイト下部に評価入力フォームがございますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
皆様のご意見は、今後の調査研究活動の品質の向上や改善活動に役立てて参ります。

【入力方法】

- ・プルダウンから評価対象の調査テーマをご選択ください
※調査研究全体への評価は「評価する章」について、空白をご選択ください

評価入力（参考になった度合いを5段階で評価してください。）

評価する章を選択してください。

お名前(ニックネーム) *必須

★★★★★

評価コメントを入力してください。(800字まで)

例)・〇〇がとてもわかりやすく参考になりました！
・□□が読みやすく内容を理解できました！
・××の部分がわかりにくかった！
・△△についてもっと情報がほしいかった！

投稿